

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

### 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、頭頸部がんに対して手術を受けた患者さんのカルテの記録や、手術後に保管されている試料（手術で摘出した組織の一部）を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報や保管されている試料（手術で摘出した組織）を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	頭頸部扁平上皮がんにおける CLICs の機能解明と新規抗悪性腫瘍薬への展開
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科 医員 細川裕貴
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028年10月1日
対象	2018年10月から2026年10月に愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科にて、頭頸部がんに対して手術加療を受けた患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、病理検査データ、治療状況 等 (利用する試料) 手術加療を受けた後に保管されている試料 (病理組織検体)
研究の概要	頭頸部がんでは、腫瘍の周辺への浸潤や転移によって、発声・呼吸・嚥下などの日常生活動作が大きく傷害される場合があります。しかし頭頸部がんにおける浸潤・転移を起こす仕組みに関しては報告が少なく、その仕組みの解明は臨床的にも非常に重要とされています。 この研究では、頭頸部がんに対して手術を受けた患者さんの、手術で摘出した組織の一部（以下、病理組織検体と称します）を使用させていただきます。当院で保管している試料のみを用いるため、患者さんに新たに負担が生じることはありません。病理組織検体において、浸潤・転移に関わる可能性があると考えている因子を、免疫組織染色という手法で解析します。これにより、がんの浸潤・転移抑制のための新たな標的を見出すことを目的としています。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れること

	<p>はありません。</p> <p>また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。</p>
お問い合わせ先	<p>愛媛大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 細川 裕貴</p> <p>791-0295 愛媛県東温市志津川 454</p> <p>Tel: 089-960-5366</p>